

禁煙外来のご案内



禁煙外来とは…



タバコをやめたいけどやめられない、以前やめようとしたがつらくてダメだった、という方にニコチン離脱症状を和らげて無理なく禁煙を達成するお手伝いをいたします。医師が治療を担当しますが、専任の看護師が患者さまの状況に合わせた日常生活支援を行います。禁煙補助薬としては、ニコチンの入った貼り薬(ニコチンパッチ)や飲み薬(ニコチン受容体の部分作動薬)を使用します。

名鉄病院禁煙外来では2011年8月にスタートして以来平均約7割の方に禁煙達成していただいています。

診療時間：毎週金曜日 14：00～16：00

完全予約制ですので、受診希望の方は当院内科外来へお問い合わせください。

電話番号：名鉄病院代表：052-551-6121 内線 1320

または 内科外来直通：052-551-6300

初回の方は30～60分かかりますが、2回目以後は10～20分で終了します。なお、初診の方は初回に心電図・胸部X線写真・肺機能検査を行わせていただきます。

以下のすべての要件を満たす方は保険診療で受診することができます。

1. ニコチン依存症に係るスクリーニングテスト(TDS)で、ニコチン依存症と診断された者。



(TDS については下記を参照してください。)

2. ブリンクマン指数 (=1 日の喫煙本数×喫煙年数) が 200 以上の者。
3. 直ちに禁煙することを希望している者。
4. 「禁煙治療のための標準手順書」に則った禁煙治療について説明を受け、治療を受けることを文書により同意している者。
5. 3ヶ月間に5回の診療プログラムを受診できる者

TDS(ニコチン依存症のスクリーニングテスト)について

5点以上でニコチン依存症であると診断できます (はい:1点、いいえ:0点)

- 問1. 自分が吸うつもりよりも、ずっと多くタバコを吸ってしまいましたか。
- 問2. 禁煙や本数を減らそうと試みて、できなかったことがありましたか。
- 問3. 禁煙したり本数を減らそうとしたときに、タバコがほしくてほしくてたまらなくなることがありましたか。
- 問4. 禁煙したり本数を減らしたときに、次のどれかがありましたか。(イライラ、神経質、落ち着かない、集中しにくい、ゆううつ、頭痛、眠気、胃のむかつき、脈が遅い、手のふるえ、食欲または体重増加)
- 問5. 問4でうかがった症状を消すために、またタバコを吸い始めることがありましたか。
- 問6. 重い病気にかかったときに、タバコはよくないとわかっているのに吸うことがありましたか。
- 問7. タバコのために自分に健康問題が起きているとわかっているにもかかわらず、吸うことがありましたか。
- 問8. タバコのために自分に精神的問題^(注)が起きているとわかっているにもかかわらず、吸うことがありましたか。
- 問9. 自分はタバコに依存していると感じることがありましたか。
- 問10. タバコが吸えないような仕事やつきあいを避けることが何度かありましたか。

(注): 禁煙や本数を減らした時に出現する離脱症状(いわゆる禁断症状)ではなく、禁煙することによって神経質になったり、不安や抑うつなどの症状が出現している状態

<禁煙のための標準手順書 第5版 (日本循環器学会)より>

私たちがお待ちしております。



《名鉄病院 禁煙外来スタッフです》